

授業科目 周手術期援助論	区分・教育内容 専門分野Ⅱ 成人看護学		
授業担当者 堀 裕美 (専任教員)	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 15 時間
授業の目的 周手術期における基本的な看護についての理解を深め、周手術期の過程に応じた看護実践に必要な能力を養う。 授業の目標 1. 周手術期にある患者の特徴が理解できる。 2. 周手術期にある患者の基本的な看護が理解できる。			
授業概要 本科目では周手術期を各期に分け、その時期の基本的な看護を学んでいく。 手術前の看護では、手術に向けての一般的準備や看護の流れ、心の準備を手助けする重要性を理解してほしい。 術中の看護では、他職種との共同作業である手術室での安全管理や看護師の役割について学ぶ。手術が安全に円滑に進むように看護師が連絡・調整の役割を担っていることを理解してほしい。 術後は麻酔および手術侵襲によって、生体に様々な変化が生じる。術後の看護では、患者の状態を十分に把握し、おこりうる状態の予測に基づいて緻密な観察が重要となる。術後患者のアセスメントの視点や術後合併症の予防の重要性を学んでほしい。 授業計画(進め方) 1 回目 周手術期看護の概論 2 回目 手術前患者の看護 3 回目 手術中患者の看護・安全管理・手術室における看護の展開と看護師の役割 4 回目 手術後患者の看護・回復を促進するための看護 5 回目 術後合併症の予防と発症時の対応 6・7 回目 術前術後の看護の実際 (演習) 8 回目 試験			
テキスト 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院			
参考書・指定図書 大滝周 編著 周術期看護 学習ワークブック メヂカルフレンド社			
評価の方法 筆記試験、授業態度、提出物を総合して評価する。			